

利活用促進部会活動方針

「利活用促進部会」設置の趣旨・目的等

次世代ネットワーク（NGN）を始めとして統合IP網の導入が急速に進展しつつあり、ネットワークの設備・運用コストの低廉化、コンテンツ流通やASP / SaaS等多様なサービスの展開が期待されている

近年、各通信事業者は様々なサービス開発や実証実験を戦略的に推進しており、これらの最新動向や将来の計画を取りまとめ、共有することは、利用者を含む関係者にとって極めて有益である。

また、今後実現が期待される新サービスのビジネスモデルの検討や実証実験を関係者が協力して取り組むことにより、サービス実現に向けた課題の解決にも資することになる。

こうした観点から、新たに「利活用促進部会」を設置し、NGNや統合IP網での様々な利活用事例の収集（海外も含む）、新たなアイデアの募集、ビジネスモデル等の検討、実証実験の実施などの推進を通じて、次世代IPネットワークを利活用した新たなサービスの実現の促進を図ることを目指す。

「利活用促進部会」における主な活動内容

1. 利活用事例の収集、分析

会員（事業者、ASP等）へのアンケート
ユーザ（オピニオンリーダー層）向けアンケート
調査などの分析
諸外国の事例調査
オールIP時代のサービス展望（予測）

利活用WGにおいて
検討

2. 新たなビジネスモデル検討

3. 実証実験の推進（ユビキタス特区との 連携など）

4. 普及のための課題、対策の検討等

5. 上記に関する普及啓蒙活動

新ビジネス検討WG
において検討

『利活用WG』の活動内容（案）

本WGは主にIPサービスに関する利活用事例の収集、分析を行なうこととする。具体的には以下のようなものに取り組んでいく。

会員企業へのアンケート調査

サービス提供主体である通信事業者、ASP等の会員企業に提供中のサービス内容、効果、見通し、将来計画等の情報をアンケート調査により収集する。

ユーザ(オピニオンリーダー層)向けアンケートなどの分析

有識者や先進的なユーザに対する個別のヒアリングやアンケート調査を通じて国際的にも先行事例となるような我が国発のサービスアイディアの集積を図る。

諸外国の事例調査

オールIP化、有線無線の融合、あるいは通信放送の融合を前提とした諸外国のサービス事例や計画等を収集すべく現地調査や文献調査等を行なう。

オールIP時代のサービス展望(予測)

上記を踏まえて、次世代IPネットワークの普及、デジタル放送の完全導入等を視野に入れ、実現が期待されるところの、有線無線の融合した、あるいは通信放送の融合したサービス進展の展望を予測し、ロードマップとして取りまとめる。

『新ビジネス検討WG』の活動内容（案）

本WGは利活用WGから出てきた新ビジネスモデルをベースにその実用化などを具体的に検討する。具体的には以下のようなことに取り組んでいく。

新たなビジネスモデル検討

利活用WGの検討成果を踏まえつつ、通信・放送融合も視野に入れ、新しいサービスのイメージを抽出、ビジネスモデルの検討・類型化を行う。

実証実験の推進（ユビキタス特区との連携）

有望なビジネスモデルについては、ユビキタス特区等を活用し、具体的な実証実験を実施し、より具体的な検討を推進する。

普及における課題の検討等

上記を通じて、有望なビジネスモデルに関する実現上の課題の抽出と改善策の検討を行う。また、国等に対して、所要の要望や提言などを行なう。

上記に関する各種普及啓蒙活動

広く社会的コンセンサスを醸成するため、ネット等を通じて積極的に情報提供を行なうとともに、シンポジウム等を通じて広範な意見の反映を図る。